

介護プロフェッショナル キャリア段位制度説明会 実施報告

2025年11月27日(木)、佐賀県立神埼清明高等学校 生活福祉系列の生徒の皆様を対象に、介護プロフェッショナルキャリア段位制度の説明会をオンラインにて実施しました。当日は、長年アセッサーとしてご活躍されているグループホームれいめいの野田様にもご参加いただきました。

佐賀県立神埼清明高校 生活福祉系列では、福祉に関する制度や介護の知識・技術を学ばれており、今年度は全国の高校生が介護技術を競う「全国高校生介護技術コンテスト」への出場に加え、愛知県で開催された第63回技能五輪全国大会『介護』職種エキシビションにも競技者として参加されています。

今回、技能五輪全国大会「介護職種」エキシビションをきっかけに、介護キャリア段位制度に関心をお寄せいただき、説明会を開催いたしました。

説明会の後半では、生徒の皆さまに日頃取り組んでいる介護技術の学習の様子をご披露いただきました。

介護技術の学習風景

今回は、移動用リフト、移動サポートロボット、排泄介助の3つの場面について、介助役の生徒が利用者役生徒への介助を実演してくださいました。たとえば移動用リフトの実演では、介護用スリングシートをリフトで吊り上げた後、利用者の身体をわずかに持ち上げ、スライディンググローブを用いて身体にかかる圧を丁寧に抜くことで褥瘡防止するなど、介助の理由や配慮点を説明しながら、非常にスムーズに介助を進めていました。繰り返し学習を重ねていることが伝わる、確かな技術でした。

また、神埼清明高校 生活福祉系列の生徒の皆さんは、介護プロフェッショナルキャリア段位制度が求める「できる」根拠を日頃から学び取る文化が根づいており、地域住民の方々に対して介護技術を実践しながら説明するなど、学びを地域で活かす取り組みも行われています。



事務局より...

神埼清明高校 生活福祉系列のご参加いただいた生徒の皆さんは、進学される方に加え、障害施設、社会福祉協議会などへの就職がすでに決まっている方もおり、進路は多岐にわたります。

今後、福祉に関わる業務に携わる中で、根拠に基づいたケアを実践し、利用者本位のサービス提供を実現されることを心より願っております。

また、これからの福祉を担う皆さんが、介護現場で自身のスキルを発揮し、さらに向上させていくためには、人材育成の基盤となる「科学的根拠」に基づく介護の実践が求められていることを改めて認識いたしました。

弊社としても、介護プロフェッショナルキャリア段位制度を通じて、根拠に基づく介護の実践力向上と人材育成に引き続き貢献してまいります。

最後に、神埼清明高校 生活福祉系列の原先生、生徒の皆様、そして野田様、
このたびは貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。